

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 昭和49年～			
総合計画	大項目	基本目標	03 地域文化と人が輝くまちづくり
	中項目	基本施策	02 生きがいのあるまちづくり
	小項目	施策	04 公民館
事務事業名		07 地区公民館運営事業	
根拠法令・規程等		・社会教育法 ・備前市立公民館設置条例	
担当課(室)		中央公民館	
職・氏名		館長補佐・山口晋作	
電話		64-1133	

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	市内13地区に在住の住民
目的(何のために)	地域住民に最も身近な施設である公民館は、生涯学習の中核として様々な学習の機会や活動の場を提供するとともに、自発的な活動を奨励し地域社会の形成や文化及び体育の振興を図ることを目的としている。
行政活動(どのような方法で)	地区住民のニーズを取り入れた特色のある講座、教室等を企画して学習発表の場を提供する。広報、市ホームページを活用して公民館活動を積極的にPRする。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	住民の教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与すること。

事業の実績					
活動	実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	年間貸館利用人数	人	120,765	122,534	83,693
	年間貸館利用回数	回	8,509	9,114	6,677
	地区公民館数	館	13	13	13
実績	直接事業費	千円	48,098	41,765	44,427
	必要人員人件費	千円	1,140	6,356	3,743
	事業費計	千円	59,238	48,121	48,170
財源	国・県支出金	千円			
	受益者負担	千円	381	455	343
	総収入金	千円			
	その他(諸収入)	千円			304
	一般財源	千円	58,857	47,666	47,523
	受益者負担比率	%	0.6%	0.9%	0.7%

結果指標①	結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	年間貸館利用人数	人	120,765	122,534	83,693
	対前年対比	%	101.5%	68.3%	
	活動コスト	円	48,642,769	48,141,000	
	単位当たりコスト	円	403	393	0
結果指標②	年間貸館利用回数	回	8,509	9,114	6,677
	対前年対比	%	107.1%	73.3%	
	活動コスト	円	46,495,769	48,121,000	
	単位当たりコスト	円	5,464	5,280	0

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
		140000	140000	140000	140000
年間貸館利用人数	実績値(B)	120756	122534	83693	到達目標年度
	達成率(B/A)	86.3%	87.5%	59.8%	平成21年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
平成21年度に地区公民館を利用した人数					

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>		C
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない	地区住民が、教育、文化等の学習を行える場であり、住民の教養の向上、社会福祉の増進、生活文化の振興に繋がることが見込まれるので妥当である。	判定理由・課題認識
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 説明 地区住民の生涯学習の拠点となっている。		
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E>	C
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	施設使用料は、公民館の活動グループにおいては免除しているが、吉永については冷暖房費を利用者が負担しており、地域によってサービスに偏りがあるので統一した受益者負担の基準を設定する必要がある。	判定理由・課題認識
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	有効性評価<A~E>		
現在利用者は、高齢者が中心となっているので、若年層及び団塊世代の新しい利用者の開拓が出来るように魅力ある講座や実際に生活に即した教室を企画して広報や市HPで積極的にPRする。				

平成21年度の状況								
目標値	結果指標量①	100,000	結果指標量②	10,000	成果指標量	100,000		
状況	拡充		現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	利用者が特定の住民に限定されている傾向にあることから、特色のある講座等を開設することによって、新しい利用者の開拓に繋がり利用人数の増大が見込まれる。利用者が増加することで公民館活動が活発になり、地域社会の文化及び体育の活性化することが考えられる。							

総合評価		評価区分<A~E>
<p>少年高齢化に伴い、高齢者の利用者が増加している一方で、若年、団塊世代の活動グループが少ないこともあり利用者に偏りがある。年齢に関係なく住民が身近な生涯学習施設と思えるような各種事業を企画する。</p>		C

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	受益者負担の見直し					
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		
妥当性	生活の即する講座の開設	平成22年度	生活文化等の振興			
効率性	受益者負担額を見直し	平成22年度	利用者サービスの平等化			
有効性	公民館活動の幅広い情報提供	平成22年度	利用者増加により公民館活動の活性化			